

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

施設名称	〔4〕 東京都台東区立下町風俗資料館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団			指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	23年度決算 歳入 629,658,630円 歳出 546,682,185円 収支差額 82,976,445円 (区返納金62,976,445円 次期繰越金 20,000,000円)監査の結果、事業報告書、決算報告書、決算付属明細書及び財産目録は適正であった(内部監査報告書より)。					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区上野公園2-1					
(2)設置目的	台東区の特長である下町文化の保存、育成、調査研究等を行い、区民文化の振興を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	開館日：休館日(月曜日/年末年始/特別整理期間等)を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)					
(5)規模	延べ床面積1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階建 搭屋 収蔵庫、荷解作業室、燻蒸室、更衣室、機械室、身障者用便所、展示室、休憩室、事務室、エントランスルーム、図書室、写真室、暗室、エレベータ機械室等					
(6)人員体制	14名 常勤固有職員(1)派遣職員(1)再任用(2)再雇用(1) 研究員(2)専門員(1)特例嘱託員(6)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管、及び展示。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2)自主事業	施設特別展・企画展、定期実演会(紙芝居、印章彫刻、染色工芸、花緒作り、こども土曜塾)、紙芝居大会、伝統工芸実演会、正月実演会(大黒舞、獅子舞、南京玉すだれ、江戸風制作)					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	20,015,000	19,258,000	19,258,000	19,719,000	18,814,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	20,015,000	19,258,000	19,258,000	19,719,000	18,814,000
決算	委託料	17,552,983	18,136,914	17,869,853	16,806,045	16,920,682
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	17,552,983	18,136,914	17,869,853	16,806,045	16,920,682
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
開館日数		日	302	301	302	304
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (25年度)	21年度	22年度	23年度
入館者数		人	64,000	62,423	67,079	59,399

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

東日本大震災の影響で外国人観光客が減少したが、うえの夏まつりに合わせた開館時間の延長や正月実演会を1月2、3日に加え1月5日にも開催するなど来館者サービスに努めた。また、絵はがきやクリアファイルなどのミュージアムグッズを手ごろな価格で提供した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[3]
	(b)サービス水準	[3]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価	[3]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)経費縮減のための取組み	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	S	浅草国際劇場を本拠地とした松竹歌劇団の特別展を行うなど、台東区の下町文化のPRに努めた。また正月開館やうえの夏まつりに合わせた開館時間の延長などの入館者サービスを行うことで入館者数の増に努めた。
(2)施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされており、補修についてもその都度区に連絡が入っている。また、軽微な修繕については、協定書に則し、管理運営費で対応している。
(3)利用者の満足度	S	地域と連携し開館時間の延長を行うなど利用者サービスを図っている。また外国人観光客には折り紙の鶴をプレゼントするなど利用者の満足度を高めるように努力をしている。
(4)歳入歳出	A	現状は妥当である。今後はさらに効率的な運営を行うよう指示していく。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	正月実演日の追加や開館時間延長などの利用者サービスを行うことで利用者数の回復を図る努力をしている。また施設管理においても連絡を密に行い適正に運営されている。
-----------	--

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

今後も利用者サービスの向上や魅力的な企画、立地を活かした積極的なPRなどに取り組み、更なる利用者数の増に努める。